

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念やグループホーム独自の理念は示しているがその理念を実現するための職員が行動しやすいような具体性や振り返る機会・仕組みを設けていない	理念を実践に繋げている取り組みや評価、振り返りを行うとともに、必要に合わせ地域や利用者のニーズ、様々な状況の変化に合わせ理念の再構築を図る	理念の実現に向けて支援のあり方として示されている5項目について実際に何を踏まえて行動するのかスタッフと考える機会を設け、行動し、毎月のケアワーカー会議内で振り返りや評価を行う。また必要時は理念の再構築を行う	6ヶ月
2	33	重度化した場合や看取りに関する指針を基に事業所内で出来る支援、出来ない支援を本人や家族に説明しているが、地域のニーズや、本人家族のニーズに応じていくための体制づくりとして看取りに関するさらなる質の向上が必要	認知症高齢者にとって必要な、生活の継続性の観点から、一緒に暮らしている仲間と最期まで暮らし続けることが出来るようスタッフの力量を向上させ軽度から重度までを網羅できる体制づくりを行う	まず看取り介護についての必要性をスタッフ個々と話し合いを重ねた上で、看取り介護に関する知識を母体施設で行っている研修に参加し深め、グループホームで看取り介護を行うにあたり改めて出来ること出来ないことをスタッフ間で話し合う	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。